プレスリリース

2026 年 11 月 20 日

Institution for a Global Society 株式会社

IGS、全国 630 校が導入する非認知能力測定ツール「Ai GROW」の中高生向け利用体験を刷新、強みの発見と日々の挑戦を支援

～ご採用校の先生方の声を基に、測定から結果の活用までの流れを再設計。事前調査では生徒の 8 割が受検直後の「速報」機能を評価。2026 年 12 月 1 日から中高生向けに提供開始～

Institution for a Global Society 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長 COO：中里 忍、以下「IGS」）は、全国 630 校が導入する児童・生徒の非認知能力測定ツール「Ai GROW（アイ・グロー）」の中高生向け受検画面を刷新し、2026 年 12 月 1 日（火）から新画面の提供を開始します。

これまでに寄せられたご採用校の先生方の声を基に、測定、結果のフィードバック、行動目標の設定、振り返りまでの流れを再設計。生徒が自分の強みを前向きに受け止め、伸ばしたい力を自ら選び、日々の行動につなげられるよう支援します。

新しい画面・機能の紹介動画を視聴した、ご採用校の生徒約 2,700 人への事前調査では、受検直後に結果を確認できる速報性について 81.1%、自分の強みや成長を具体的な言葉で説明しやすくなることについて 71.5%の前向きな回答を得ました。



▲「Ai GROW」中高生向け新受検画面、2026 年 12 月 1 日から提供開始

■ 改修の背景～先生方の声と生徒の自己理解

これまで、「生徒に楽しんで受検に取り組んでもらいたい」、「結果を前向きに受け止めてもらいたい」といった声が、ご採用校の先生方から寄せられてきました。こうした声を踏まえ、IGS は、生徒が自分の結果に関心を持ち、自分の良さを知り、次に取り組むことを考えられる利用体験を目指しました。

IGS が 2026 年 3 月に発行した『非認知能力白書 2025 年度版』では、83%の生徒が、自分の非認知能力を他者からの評価より 10%以上低く見積もる傾向が明らかになりました。周囲から見えている自分の

強みに触れることは、自己理解を深める手掛かりになります。今回のリニューアルでは、その気づきを生徒自身がより直接的に得られるよう、結果の伝え方を見直しました。

■ 「Ai GROW」新しい受検画面の３つの特長

受検の取り組みやすさ、結果のわかりやすさ、行動へのつなげやすさを一体で刷新し、生徒が自分の画面で自己理解を深め、挑戦と振り返りを続けられるようにしました。なお、今回のリニューアルの対象は中高生の受検画面のみで、個人レポート、測定するコンピテンシー項目や設問、スコアリングの仕組みに変更はありません。

１．取り組みやすい受検と受検直後の速報

新しい「Ai GROW」では、受検前の導入画面で、受検の目的と「スコアだけが自分の価値ではない」という考え方を伝えます。受検中は進行状況がわかり、中断しても続きから再開できます。気質診断は１フェーズ約５分で、フェーズごとに結果を確認できるようになります。

コンピテンシーの自己評価を終えた直後には、「速報」として自分の傾向タイプを確認できます。結果を早い段階で返すことで、自分の意識や自信の変化に関心を持ちながら取り組めるようにしました。



▲非認知能力測定ツール「Ai GROW」の新しい受検画面（左から：気質診断、フェーズ結果、自己評価、速報）

２．周囲の視点から自分の強みを知るトリセツ

新しい「Ai GROW」では、周囲の人からの評価が集まると、「速報」は「トリセツ（取扱説明書）」に更新されます。自分の強み３つ、基本的な行動パターン、強みの生かし方、注意点を短い言葉でフィードバックします。自分の見方に周囲の視点を重ね、自分では気づきにくい強みを知る機会をつくります。

「成長のヒント」では、生徒が伸ばしたい力を自分で選び、その力を伸ばした先の姿を確認できます。結果の理解から、自分が目指す姿を考えるところまでを支援します。

３．自分で選んだ挑戦を行動と振り返りにつなげる

新しい「Ai GROW」の「チャレンジ」では、伸ばしたい力に合わせて明日の行動目標を設定し、実行したら「できた」を記録できます。「成長ログ」で取り組んだ回数や使ったコンピテンシーを振り返り、「きろく」には続けた事実がバッジとして残ります。日々の取り組みを見返せるようにし、生徒が再び自分の成長に向き合うきっかけをつくります。



▲非認知能力測定ツール「Ai GROW」の新しい受検画面（左から：トリセツ、成長のヒント、成長ログ、チャレンジ、きろく）

画面上で受検の目的や結果の読み方を伝えることで、先生方による説明を支えます。また、生徒が選んだ伸ばしたい力や行動目標は、本人と一緒に画面を見ながら面談や日々の声掛けを行う際の手掛かりにもなります。

■ 事前調査で確認した生徒の受け止め

IGS は 2026 年 8 月～9 月、ご採用校 15 校の生徒 2,749 名を対象にアンケートを実施しました。回答は、新しい画面と機能を紹介する動画を視聴したうえで行っています。

「これまでは『友達の評価が全員分揃うまで結果が見られない』仕組みでしたが、新しい『Ai GROW』では、自分の受検が終わった直後にすぐ『自信が高まった能力』などの結果を確認できるようになります。このスピード感についてどう思いますか？」という設問に対し、「すぐに振り返りができて、とても活用しやすくなりそう」または「少し活用しやすくなりそう」と回答した生徒は 81.1%でした（2,230 名／2,749 名）。

「新しい『Ai GROW』の仕組み（成長ログやバッジなど）を使うことで、自分の『強み』や『成長』を、より具体的な言葉で説明しやすくなる（友達や先生、面接などで語りやすくなる）と感じますか？」という設問に対し、「とてもそう思う」または「ややそう思う」と回答した生徒は 71.5%でした（1,966 名／2,749 名）。

調査概要

- 実施期間：2026 年 8 月 24 日～9 月 10 日
- 有効回答者数：2,749 名
- 調査方法：Google フォームによるオンラインアンケート（紹介動画の視聴後に回答）
- 比較条件：新画面・新機能の紹介動画のみの視聴（旧画面は提示せず、従来の「Ai GROW」を利用した経験を前提に回答）

IGS 代表取締役社長 COO 中里 忍のコメント

私たちが大切にしているのは、生徒が自分の強みに気づき、これからの成長に前向きになれることです。先生方からいただいた「生徒に楽しんで取り組んでほしい」「結果を前向きに受け止めてほしい」という声を受け、受検から結果の理解、その後の行動までを見直しました。一緒に学ぶ周囲の友人から見えている自分の良さを知り、伸ばしたい力を自分で選び、小さな挑戦を重ねていく。今回の改修を通して、生徒一人ひとりのその歩みを支えていきたいと考えています。

■ 提供概要

- 提供開始日：2026 年 12 月 1 日（火）
- 対象校：「Ai GROW」を導入している中学校・高等学校（小学校・専門学校・大学向けの画面は 2026 年度末に切り替え予定）
- 変更範囲：生徒の受検画面
- 切り替え方法：2026 年 12 月 1 日（火）に自動で切り替え
  ※測定するコンピテンシー項目、設問・評価方法、スコアリングの仕組みは維持し、過去の結果との比較も引き続き可能です。生徒による過去の結果の閲覧は、学校側の設定に従います。
  ※先生用の管理画面は 2027 年 3 月リニューアル予定

■ 「Ai GROW」とは

「Ai GROW」は、IGS が 2019 年 4 月から提供する、児童・生徒の非認知能力測定ツールです。スマートフォン・タブレットで受検でき、「考える力」「自分自身との向き合い方」「他者との関わり」「社会や集団との関わり」の 4 領域・25 のコンピテンシーと、気質（BIG5）を測定・可視化します。

「Ai GROW」は、自己評価と他者評価を組み合わせ、評価の偏りを特許取得の独自アルゴリズムで補正することで、非認知能力を一定の信頼性をもって測定します。

▲児童・生徒の非認知能力測定ツール「Ai GROW」

2026 年 8 月現在、全国 630 校に有償導入されており（累計）、文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）指定校 233 校のうち 65 校も含まれています。これまでに蓄積した児童・生徒の非認知能力評価データは、1.25 億件にのぼります。学校での日常的な見取りに加え、自治体や企業による教育施策・教育活動の効果検証にも活用されています。

- 利用料：児童・生徒 1 名当たり 2,530 円/年（税込。アカウント登録・更新費 352 円含む）
- 内容：気質診断、コンピテンシー自己評価・相互評価、管理画面（先生向け）、個人レポート（児童・生徒向け）
- 契約月から 1 年間、何度でも受検可能
- 申込条件：学校・教育機関のみ

▶非認知能力測定ツール「Ai GROW」について、詳しくはウェブサイトをご覧ください：

- IGS 教育サービスサイト https://www.aigrow.jp/
- 「Ai GROW」サービスページ https://www.aigrow.jp/aigrow

▶IGS では、「Ai GROW」が蓄積する大規模データを基にした『非認知能力白書 2025 年度版』を 2026 年 3 月に発行しています。『非認知能力白書 2025 年度版』ダウンロードはこちらから（無料）：

https://www.aigrow.jp/non-cognitive-abilities-whitepaper-2025

※非認知能力とは、IQ や学力テストで測られる認知的な能力とは区別される、協調性・自己制御・目標設定・粘り強さなどの社会情動的スキルの総称です。

■ 会社概要　Institution for a Global Society（IGS）株式会社

社会で力を発揮するうえで重要な「非認知能力」を中心に、人の能力（コンピテンシー・スキル）や気質（変化しづらい特性）を可視化する評価サービスを提供する EdTech/HRTech 企業。企業・学校・自治体向けに、行動特性や強みを数値化し捉えるツールおよびサービスを提供し、個人と組織の成長と価値創出を支援しています。企業パーパスに「分断なき持続可能な社会を実現するための手段を提供する」、そしてビジョンとして「人を幸せにする評価と教育で、幸せを作る人、をつくる。」を掲げています。
2010 年 5 月の創業以来、国内外の多様な組織との協業を通じて、教育・人材領域の変革を推進し、
2021 年 12 月 29 日には東証マザーズ市場（現・グロース市場）へ上場しました。

- 事業内容：学校・企業向けに、非認知能力を含む人の能力・特性を可視化する評価プラットフォームの開発・提供
- 所在地：〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-11-2 4F
- 設立：2010 年 5 月
- 代表者：代表取締役会長 CEO 福原 正大／代表取締役社長 COO 中里 忍
- 資本金：91 百万円（2026 年 9 月末現在）
- コーポレートサイト： https://www.i-globalsociety.com/

■ お問い合わせ

＜「Ai GROW」による測定・研修等サービスに関するお問い合わせ先（学校・教育委員会等）＞

Institution for a Global Society 株式会社　教育ソリューション部 矢部

MAIL：edsales@i-globalsociety.com

＜ご取材に関するお問い合わせ先（メディア）＞

Institution for a Global Society 株式会社　ブランドコミュニケーション室　広報担当 川村

MAIL：pr@i-globalsociety.com